

IV. 資料

① ダイバーシティ推進室 活動記録

- 4月4日（火） 各学部オリエンテーションにて「多様な性のガイドライン」配布
保健管理センターより紹介
- 4月6日（木） 医学部オリエンテーションにて「多様な性のガイドライン」紹介
- 4月12日（水） 第13回戦略本部運営会議
- 4月18日（火） 第1回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 4月22日（土） チェリアフェスティバル山形2023第1回実行委員会
- 5月9日（火） 第1回女性研究者の集い
- 5月10日（水） 第14回戦略本部運営会議
- 5月12日（金） 山形県教育センター新規採用教頭研修「ジェンダー平等」講演
- 5月16日（火） 男女共同参画及びダイバーシティセミナー開催
- 5月23日（火） 第2回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 5月27日（土） チェリアフェスティバル山形2023第2回実行委員会
- 5月30日（火） 第1回ダイバーシティ推進委員会
- 6月2日（金） 長井市男女共同参画推進会議講演
- 6月6日（火） 山形市男女共同参画審議会
- 6月7日（水） 第15回戦略本部運営会議
- 6月8日（木） 山形県立山形西高等学校講演会（山大JOIN）
- 6月15日（木） コンソーシアムやまがた幹事会
- 6月17日（土） チェリア男女共同参画県民企画審査
- 6月20日（火） 第3回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 6月23日（金） 男女共同参画及びダイバーシティフェスタ開催
～6月29日（木）
- 6月28日（水） 大学コンソーシアムやまがた総会
- 6月30日（金） 山形県教育センター高校5年経験者研修会「ジェンダー平等」講演
- 7月3日（月） 米沢分室会議
- 7月5日（水） 第2回女性研究者の集い

- 7月6日(木) 山大JOIN第1回交流会
- 7月12日(水) 第16回戦略本部運営会議
- 7月13日(木) 第1回大学コンソーシアムやまがたダイバーシティ推進ネットワーク会議
- 7月18日(火) 第4回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 7月19日(水) 山大JOIN第2回交流会「先輩に聞く！」
- 7月24日(月) 全国ダイバーシティネットワーク組織全国幹事会
山形県立米沢興譲館高等学校Diversity-KOJO講座(山大JOIN)
- 7月25日(火) 新任者ミーティング(教員、事務職員)
- 8月1日(火) 第17回戦略本部運営会議
- 8月26日(土) チェリアフェスティバル山形2023第3回実行委員会
- 9月1日(金) 山形市男女共同参画センター(ファーラ)一行詩審査
- 9月5日(火) 山形県若年女性県内定着促進協議会
- 9月7日(木) 第3回女性研究者の集い
- 9月12日(火) 第5回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 9月13日(水) 第18回戦略本部運営会議
- 9月25日(月) 学長・学部長と女性研究者との懇談会(鶴岡キャンパス)
- 9月30日(土) 米沢キャンパス裾野拡大セミナー
- 10月1日(日) 加藤セチ生誕130周年記念事業
- 10月3日(火) 基盤共通教育授業「ジェンダーで考える山形」開始
- 10月4日(水) 基盤共通教育授業「キャリア形成とワークライフバランス」開始
- 10月8日(日) チェリアフェスティバル
- 10月11日(水) 第19回戦略本部運営会議
- 10月24日(火) 第6回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 11月7日(火) 第4回女性研究者の集い
- 11月9日(木) 第20回戦略本部運営会議
- 11月11日(土) チェリアフェスティバル山形2023第4回実行委員会
- 11月16日(木) 男女共同参画及びダイバーシティ推進賞審査会
- 11月21日(火) 第7回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 11月28日(火) 全国ダイバーシティネットワーク総括シンポジウム
- 12月4日(月) 全国ダイバーシティネットワーク東北ブロック会議
- 12月11日(月) レイシャル・ハラスメント防止セミナー
- 12月12日(火) 山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞表彰式
- 12月13日(水) 第21回戦略本部運営会議
- 12月14日(木) 学長・学部長と女性研究者との懇談会(米沢キャンパス)
- 12月15日(金) 第2回山形市男女共同参画審議会
- 12月19日(火) 第8回ダイバーシティ推進室ミーティング

- 12月21日（木） 学長と山大JOINの懇談会
- 1月10日（水） 第22回戦略本部運営会議
- 1月11日（木） 第5回女性研究者の集い
- 1月16日（火） 第9回ダイバーシティ推進室ミーティング
- 1月17日（水） 臨時大学コンソーシアムやまがたダイバーシティ推進ネットワーク会議
第2回米沢分室会議
- 1月18日（木） 全国ダイバーシティネットワーク北東北ブロックシンポジウム
- 1月25日（木） 山形市男女共同参画センターWomen's Campus山形活動報告会
- 2月14日（水） 第23回戦略本部運営会議
- 3月7日（木） 第2回大学コンソーシアムやまがたダイバーシティ推進ネットワーク会議
- 3月8日（金） 学長・学部長と女性研究者との懇談会（小白川キャンパス）
- 3月18日（月） 大学コンソーシアムやまがた臨時総会
- 3月29日（金） 山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進活動報告書発行

2 山形大学の男女別教員数と女性割合

(2023年10月1日時点)

2023年10月1日現在の本学教員数（常勤）を男女別にまとめた。

男女計782人中、女性教員は161名（全体の20.6%）である。

以下、職位別（表1）と部局別（表2）に男女の教員数と女性割合をまとめた。

表1 職位別女性教員の割合

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
男性	253	164	47	154	3	621
女性	21	52	23	65	0	161
計	274	216	70	219	3	782
女性割合	7.7%	24.1%	32.9%	29.7%	0.0%	20.6%

表2 部局別女性教員の割合

	人文社会 科学部	地域教育 文化学部 (注1)	理学部	医学部 (注2)	理工学 研究科 (注3)	農学部	学士課程 基盤教育院	その他 (注4)	合計
男性	60	52	65	209	142	53	14	26	621
女性	15	22	9	66	16	12	9	12	161
計	75	74	74	275	158	65	23	38	782
女性割合	20.0%	29.7%	12.2%	24.0%	10.1%	18.5%	39.1%	31.6%	20.6%

注1. 地域教育文化学部には、大学院教育実践研究科を含む。

注2. 医学部には、大学院医学系研究科、附属病院を含む。

注3. 理工学研究科には、有機材料システム研究科を含む。

注4. その他は、戦略本部、教育推進機構、総合学生支援機構など。

注5. 教員数には休職者を含む。

③ 国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画

女性が研究者及び管理職として活躍でき、男女ともに有給休暇を取得しやすい職場環境の整備を行うため、次の行動計画を策定する。

1. 計画期間 2022年4月1日～2026年3月31日（4年間）

2. 本学の課題

- (1) 着実に増加しているものの、女性教員が少ない。
- (2) 管理職に占める女性割合が低い。
- (3) 75%の職員が、年休取得日数10日未満である。

3. 目標と取組内容・実施時期

目標1：教員に占める女性割合を18.5%以上とする。

- 2022年度～ 女性教員同士の交流機会を提供しネットワーク形成を推進するため、女性研究者の集いを月1回程度開催する。
- 2022年度～ 各キャンパスの状況に沿ったワーク・ライフ・バランスを推進する取組として、学部長と女性研究者との懇談会との開催を推奨する。
- 2022年度～ 女性教員のワーク・ライフ・バランスを支える各種支援制度を周知し、アンケート結果を踏まえて職場環境を改善する。
- 2022年度～ 女性大学院生・女子中高生を対象にさらに次世代育成に努める。

目標2：管理職（課長級以上）に占める女性割合を20%以上とする。

- 2022年度～ 「経営人材育成方針」に即し、女性を含めた将来の経営を担う人材を戦略的かつ計画的に育成する。
- 2022年度～ 女性管理職の登用を図るため、管理職業務と家庭生活の両立を支援する方策を推進する。
- 2022年度～ 性別にかかわらず個性と能力を発揮できる大学を目指し、大学経営における女性参画の拡大をより一層推し進める。

目標3：年休取得日数を10日以上とする。

- 2022年度～ 計画年休の拡充を行う。
- 2022年度～ DXの推進等による業務効率化等を行い、年休を取得しやすい職場環境を整備する。

4 国立大学法人山形大学 次世代育成 支援対策推進法に基づく行動計画

職員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境をつくることによって、職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日（3年間）

2. 内 容

目標 1：子の看護休暇制度等を拡充する。

- ①令和4年度、子の看護休暇の対象年齢を未就学から小学校3年生までに拡大する。
- ②アンケート等によるニーズの把握に努め、今後、対象年齢や付与日数の拡大を目指すとともに、不妊治療を受ける職員の休暇制度の新設を検討する。

目標 2：時間外労働時間・休日労働時間を削減する。

- ①毎月の事務協議会において、時間外労働時間の実績を共有する。
「ノー残業デー」や「ノー残業ウィーク」の導入を継続する。
- ②時間外労働時間の実績を全学で共有することで、更なる短縮を呼びかける。

目標 3：夏季・年末年始等の計画休暇（一斉休業）を実施するなど、年次有給休暇の取得促進に取組み、計画期間内に、常勤職員について、取得日数平均10日以上を目指す。

- ①一斉休業や連休に連続する休暇や記念日休暇など年次有給休暇を積極的に取得するよう、ポスターやホームページ等で促す。
- ②一斉休業の前後は会議等の自粛を促し、休暇の取得促進を図る。
- ③年次有給休暇の取得状況及び今後の課題を、毎年（5月頃）ホームページ上に掲載し、啓発を行う。

目標 4：フレックスタイム制度を導入する。

令和4年度内の事務部における本格導入を目指すとともに、導入後もアンケート等によるニーズの把握に努め、範囲の拡大を目指す。



 山形大学ダイバーシティ推進室

〒990-8560 山形市小白川 1-4-12

T E L : 023-628-4937/4939

E-mail : yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp